

科目名	保育・教職実践演習（幼稚園）						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	2	2	後期			
担当者名	近藤 鉄浩、伊藤 一統 原井 輝明、弘中 陽子 重村 美帆、久光 明美 徳永 良枝、廿 麻乃	関連する資格	幼稚園教諭二種免許 必修 保育士資格 必修				
授業概要 2年間で学んだ幼児教育の専門的知識と教育・保育所実習で得られた幼児理解や保育指導力の実践の統合を図り、保育観及び教育観の確立、社会性やコミュニケーション能力の向上、さらに、幼児とその保護者の理解、保育内容の指導力と表現力を有する保育者としての資質を身に付けることを目的とする。							
到達目標 ① 幼稚園教諭及び保育士としての保育観、教育観を述べることができる。 ② 社会性やコミュニケーション能力を高めることができる。 ③ 幼児とその保護者の理解ができる。 ④ 保育内容の指導力と表現力を高めることができる。 ⑤ 子ども一人ひとりの発達ニーズを理解し、保育内容を構築することができる。			成績評価方法 レポート課題、演習評価、受講の姿勢				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験（中間・期末）							
小テスト、授業内レポート	○		○				20
宿題、授業外レポート	○			○			20
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク	○	○	○		○		30
演習		○	○	○	○		20
実習							
授業計画と概要					アクティブラーニング		
1) ガイダンス：保育・教職実践演習（幼稚園）の目的について							
2) 保育者の資質について考える					グループ討議		

3) 自己の課題について考える	履修カルテの振り返り
4) 保育者の責務と倫理(1) (保育者の役割、職務内容、子どもに対する責任について)	グループ討議
5) 保育者の責務と倫理(2) (保育現場から求められる基礎的汎用的能力 (挨拶、言葉遣い、服装) や職務内容、保護者への接し方について)	グループ討議
6) 保育実践の技術(1) (教材研究)	指導案の作成 グループワーク
7) 保育実践の技術(2) (健康で安全な生活を作り出す力を育む)	ロールプレイング グループワーク
8) 保育実践の技術(3) (人と関わる力を育む)	ロールプレイング グループワーク
9) 保育実践の技術(4) (言葉に対する感覚や表現する力を育む)	ロールプレイング グループワーク
10) 保育実践の技術(5) (身近な環境と関わる力を育む)	ロールプレイング グループワーク
11) 現代保育の在り方について(1) (子育て支援ニーズの実際)	
12) 現代保育の在り方について(2) (小学校教育の実際)	参与観察
13) 現代保育の在り方について(3) (小学校教育の実際)	参与観察
14) 現代保育の在り方について(4) (幼保小連携の意義)	グループ討議
15) まとめ (自身の学習を振り返り、課題を認識する)	自己ワーク
授業外学習	
原則として毎時間、学習レポートを課す。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
適宜資料を配布する。 その他の参考文献については、適宜紹介する。	教育実習、保育所実習、教育・保育職研究、教育実習指導、保育所実習指導
備考	
講義内容については、都合により前後することがある。	